

A large, pink-skinned woman with large breasts and a small child-like figure at the bottom. The woman has large, expressive eyes and a slight smile. She is wearing a yellow headband. The background is a dark, textured pattern. The child-like figure is small and has a sad expression.

# クローン養殖場の日常 ～餌になるために生産される男の子～

by ドMラボ

クローン養殖場・・・  
それは、女魔族達が、食料として用いる  
人間奴隷のクローンを、生産する場所である。  
人にとって、余りにも凄惨で、惨々らしい、  
餌人間の製造工程が今明らかになる・・・

誰か  
をす  
・・・  
けて  
・・・

ここはクローン生産工場の一室。部屋中がピンク色の肉壁ででき、壁から生える触手が、そこら中を這い回る、異様な空間。

肉壁には、一定間隔で割れ目が備わり、一体ずつ、クローン人間が埋め込まれている。

その割れ目は、クローン苗床と呼ばれ、その名の通り、原本の人間の細胞を、苗床子宮に着床するだけで、魔力によってクローンを産み出すことができる。

クローン苗床の子宮は、奴隷達の臍やアナルに触手を挿入し、魔力を供給することで、成長を何倍にも促進する。

効率的に、女魔族達が好む、思春期や青年の年齢に至った奴隷を生産するためだ。

また、クローン奴隷の全身を肉が24時間ずつくしゃぶりあげ、脱走や反抗をさせないための拘束具としての役割も、この苗床が担っているのだという。

そんな彼らの前に、クローン生産の管理人が現れた。

一匹のクローン苗床の前で、彼女は立ち止まった。

みんな、ご飯の時間よ。

まずはあな充からね。

通常であれば、食事は喜びの時間だ。

しかし、ここでは、それは違う。

苗床の中で、怯える彼の顔を見れば、一目瞭然。

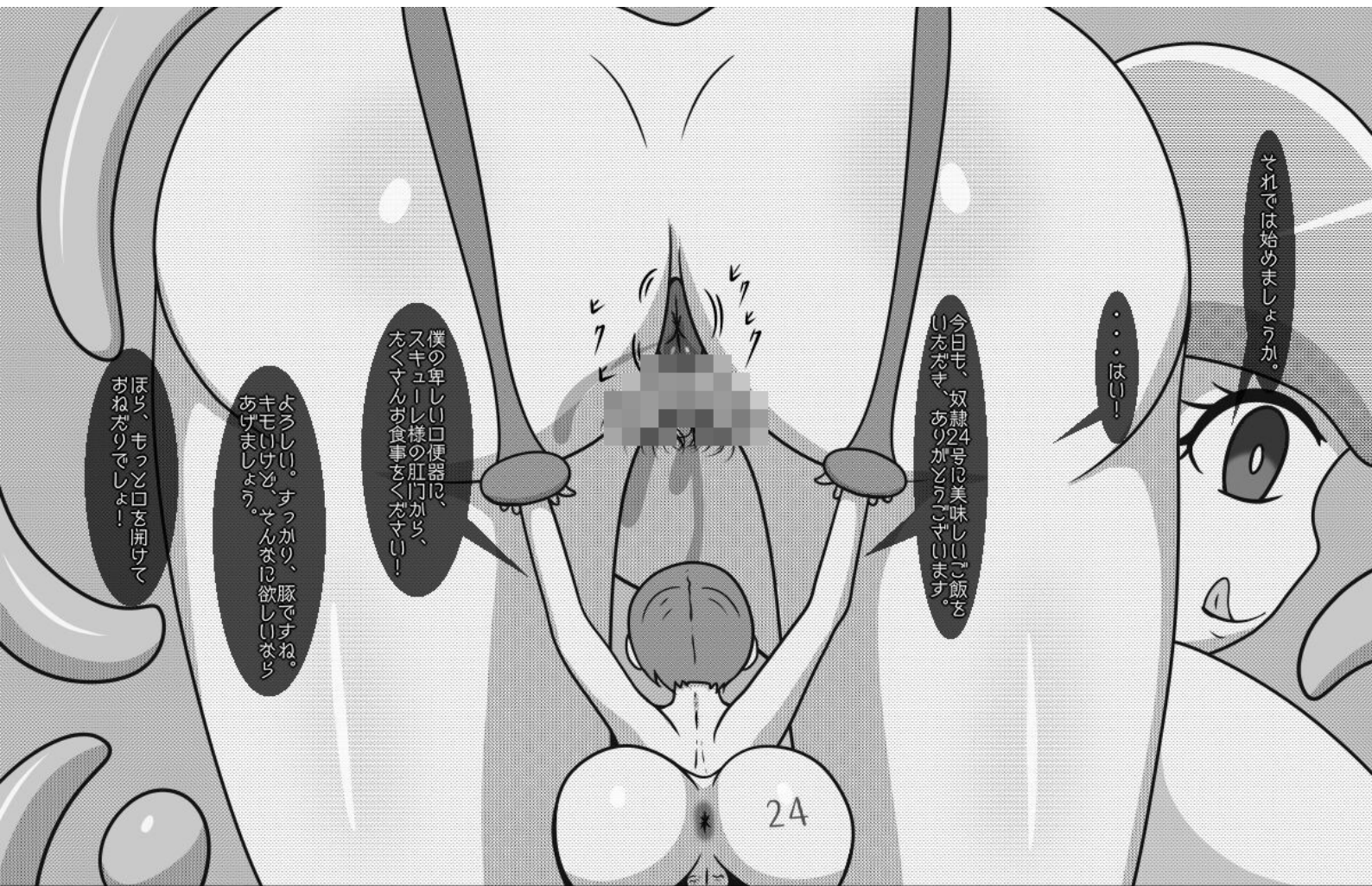
触手が、そんな彼のいる、苗床の割れ目に分け入り、少年の右手を捕まえ、

引きずり出してくる。これから、この子の食事の時間だ。

仁王立ちになっている管理人の女モンスターの腰の前で、少年を運ぶ。

ひい……

毎日経験する『食事』の始まりが迫り、少年は小さく怯え充音を漏らした。



それでは始めましょうか。

……はじ！

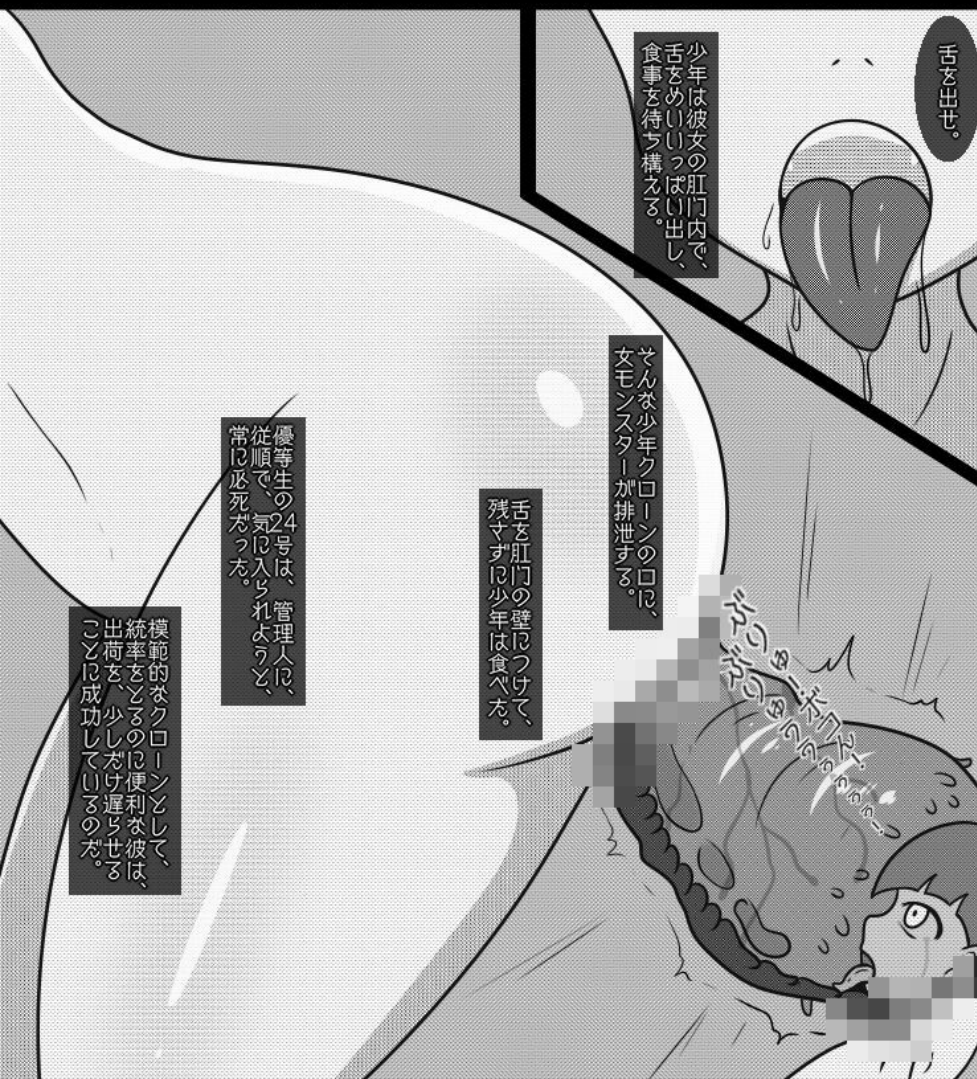
今日も、奴隷24号に美味しいご飯を  
いただきます。ありがとうございます。

僕の卑しい口便器に、  
スキューレ様の肛門から、  
たくさんお食事をくぐさい！

よろしい。すっかり、豚ですね。  
キモいけど、そんなに欲しいなら  
あげましょう。

ほら、もつ口を開けて  
おねだりですよ！

24



舌を出せ。

少年は彼女の肛門内で、  
舌をめいっばい出し、  
食事を待た構える。

そんな少年クローンの口は、  
女モンスターが排泄する。

舌を肛門の壁につけて、  
残らずに少年は食べた。

優等生の24号は、管理人に、  
従順で、気に入られようと、  
常に必死だった。

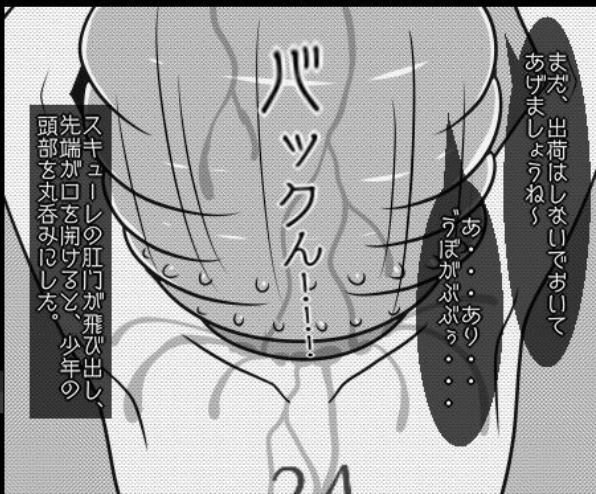
模範的なクローンとして、  
統率をよるのに便利な彼は、  
出荷を、少しだけ遅らせる  
ことに成功しているのだ。



くぐさい！  
うんち、くぐさい！

まあ、良いでしょう。  
私のアナルを見て涎を垂らす、  
その痴態に免じて、今日は……

24



まあ、出荷はしないであって  
あげましょうね。

あ……あり……  
うほがぶぶう……

スキューレの肛門が飛び出し、  
先端が口を開けると、少年の  
頭部を丸呑みした。

バックン！

24





ひひひひ…少し寝られる…

お願いです…今回は…  
せめて…楽に…  
気絶させて…くたない…

彼のすぐ上で、子宮口が  
ゆっくり口を開けて、彼に  
涎をかける。



あ、ご飯終わった…  
他の子よりは取れたから  
出荷は大丈夫かな…

う…げほっ…

ヴァギナのヒダが少年を引ずり込む。  
彼は無抵抗で、子宮口まで頭を付ける。



子宮口が窄まり、泡を吹き、  
1分程で24号は失神する。

また食後に必ず待っている  
恐怖のイベントに、抵抗を  
示すクローンも多く

このように失神させることで、  
次に起きる時は、スムーズに  
そのイベントに移行するこ  
ができるという作業の効率化  
にもなっている。

24

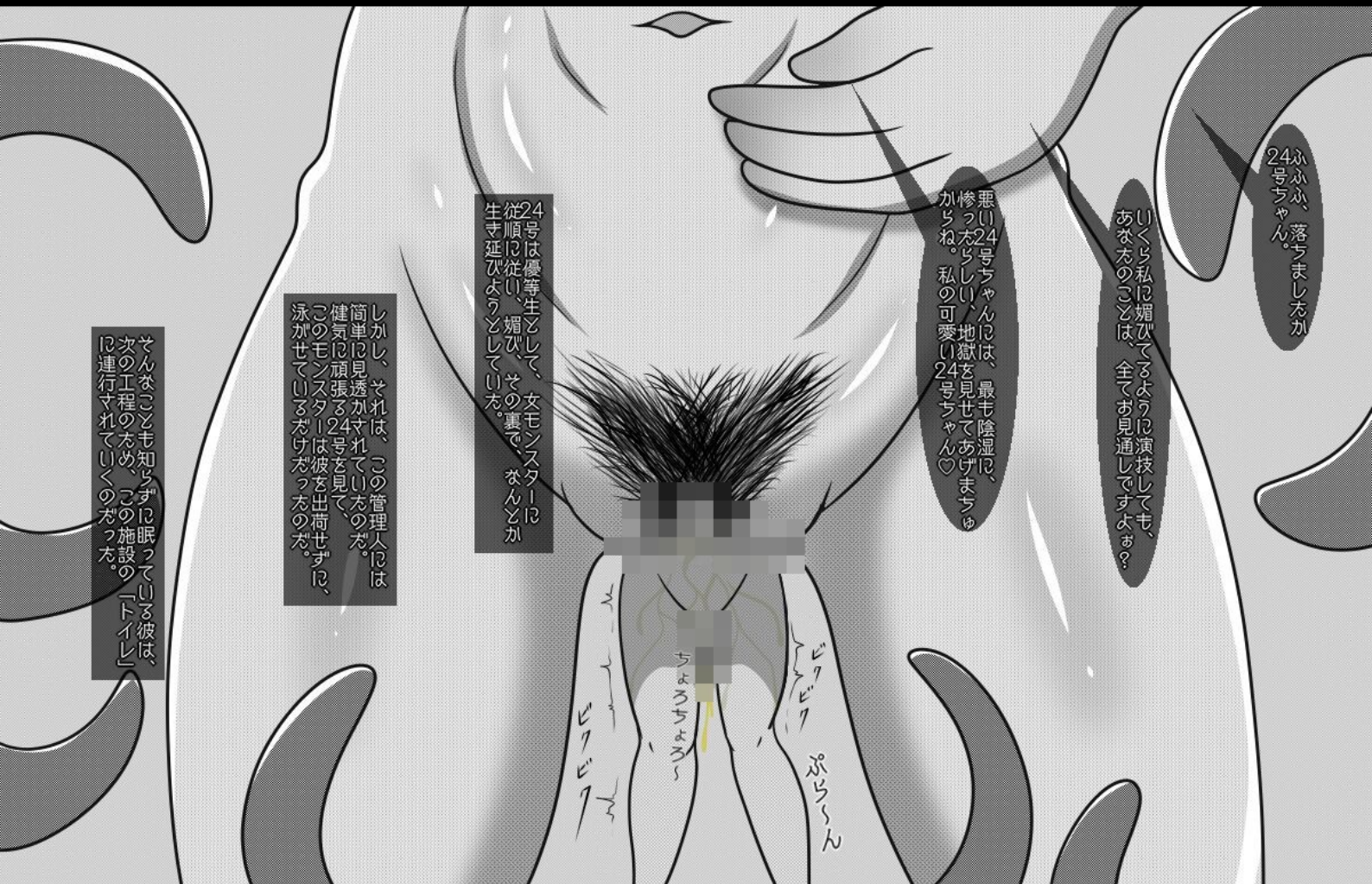


そして、彼の頭に、  
子宮口がしゃぶりつく。

パクン!

くるし…早く…  
早く…早く…  
早く…早く…

これは、子宮口で首を締め、  
女の生殖器に恐怖心を持つように  
毎日行われる調教の一つ。



ふふふ、落ちましたか  
24号ちゃん。

いくら私に媚びてるように演技しても、  
あま充のごときは、全てお見通しですよ。

悪い24号ちゃんには、最も陰湿に、  
惨つたらしい、地獄を見せてあげま  
からね。私の可愛い24号ちゃん♡

24号は優等生として、女モンスターに  
従順に従い、媚び、その裏で、みんなが  
生か延びようとしていた。

しかし、それは、この管理人には  
簡単に見透かされてたのだ。  
健気に頑張る24号を見て、  
このモンスターは彼を出荷せず、  
泳がせているだけだったのだ。

そんなことも知らずに眠っている彼は、  
次の工程のため、この施設の「トイレ」  
に連行されていくのだった。





捕獲完了♡  
それじゃ、持ち上げて〜

おちんちん、逃さないように  
固定しちゃうからね〜

何かボクに言うこと  
ある？

は…はひ…  
女王様…今日も…  
おまんこ…僕の…

おしっこ…  
お召し上がり…  
くだまし…

そらがそらが…  
そんなにボクに飲んで  
欲しいのがある

それなら



ほら〜逃げてみなよ〜  
ボクに捕まったら、  
お仕置きだぞ〜？

はい、まんね〜ん。  
乳首でお手手捕まえろ♡

いやだ…いやだ…  
いやだ…いやだ…

それじゃあんだよ〜  
捕獲しちゃうぞ！

ひっ助けて…いや…  
女王様は…いや…

え…え…



クロロン24号の尿道に、  
彼のペニスより太いイボイボの  
触手が突き入れられる。

四肢が拘束され、腰にも触手が  
巻きついてるため、24号が  
腰を引いてペニスを逃すことを、  
女王は一切許さない。

無防備なペニスが、女モンスター  
のクロテスクな触手にレイアまれる。

笑みを浮かべる女王の目の前で、  
少年の悲鳴が上がる。  
あまりの刺激に、ガチガチと歯を  
鳴らしている。

歯を刺すことで、  
尿道の刺激を緩和しよう  
としているのだが、そんなことで、  
女王の責めを耐えるのは無理だ。

ほらほらほらっつよん！  
これで膀胱まで入っただろ〜

今日は特別に、この先まで  
犯してあげるよ。まずは尿道で  
落ちなさい、ふんふん

女王が執拗に、彼の尿道を、  
返しの突起で虐め回し、そう  
彼が気絶するのは、そう  
時間はかからなかつた。



今までよりモ  
ッン大きくして  
あげろ♡

何…なんで…

いつも泣いて喜んで  
くれるもんね〜  
こんなに大きくしてこん  
ないから、特別だぞ☆



女王さま…  
無理…です…  
ごめんなさい…

大丈夫だ。  
入りたくてもおし  
無理やり入れるの。

ボクが本気出すと、  
死んじゃう子が多しけど、  
あな方は、ちゃんと楽しま  
せてね〜

こんなの…無理…  
おちんちんより、太い…

本当に…壊れる…  
耐えないと…  
…くる…！



おしっこを作るところ。腎臓って言うんだっけ？

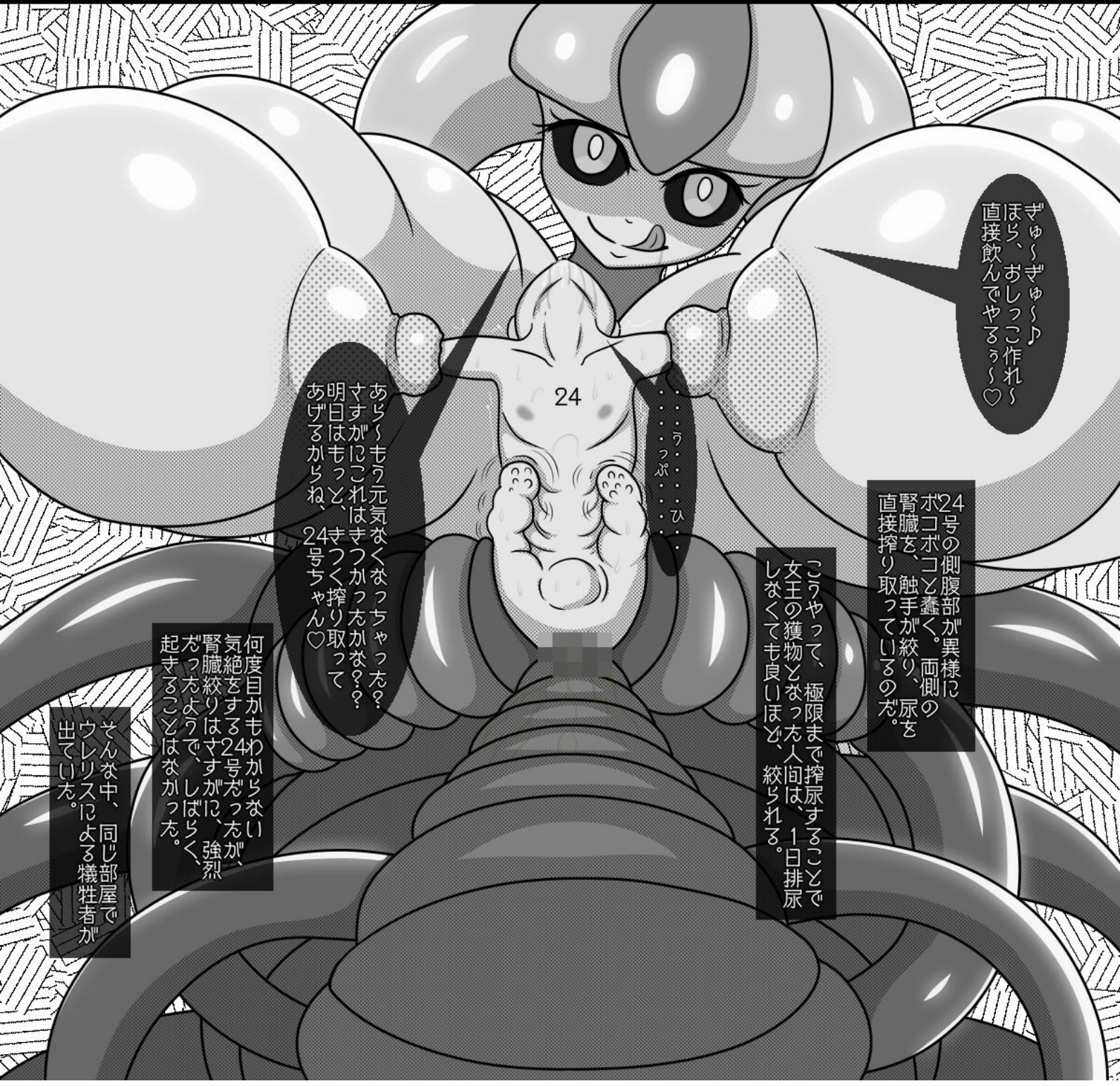
今から、腎臓絞りしつぱあ☆

尿道や膀胱への責めで、何度も気絶している少年の尿管をマサに責め上がり

ウレリス女王の触手が腎臓にまで到達する。

ほら分かる？ここが、あななの...

うげ...あ...あ...あ...あ...



ずゅ〜ずゅ〜ほら、おしっこ作れ〜直接飲んでやるっ♡

24

あだ〜もう元気がなくなっちゃった？マサがこれにきつかったかな？？明日はもっと、きつく搾り取ってあげるからね、24号ちゃん♡

24号の側腹部が異様にボコボコと蠢く。両側の腎臓を、触手が絞り、尿を直接搾り取っているのだ。

こうやって、極限まで搾尿することで女王の獲物となった人間は、1日排尿しなくても良いほど、絞られる。

何度目か分からないが、気絶をする24号だっただが、腎臓絞りはマサがに、強烈だっただようで、しばらく起きることはなかった。

そんな中、同じ部屋でウレリスによる犠牲者が出ていた。

一体のクローン体が、ウレリスの乳房の間で、気絶している。

彼はとても不運だった。本日は、彼が、ウレリスの苗床に選ばれたからだ。

彼の涙や涎、鼻水で汚れた酷い顔より、下を見てみるよ。

その異質は明らかだった。なんと、彼のペニスは、彼の体と同じくらいの大さまに肥大化していた。

ウレリスは、人間男子の膀胱に自分の娘を産み付け、娘は、その男子の尿を糧として急成長し、尿道を通して産まれる。

膀胱は、彼女たちに取りつて、栄養もある便利な子宮である。

そして彼は、這い出てきた触手と共に、尿を飛ばし、破水となる。

うぎやあああああ  
いやいややだあああ  
だずげ...でおぼあ!

尿道から、触手が這い出てくる  
激痛に、彼が目覚ますよ。  
彼は必死に首を振り、助けを求めろが

すでに膀胱内一体のウレリスが宿っており、どうあがいても、尿道をモンスター女が通る運命からは逃れることができない。  
そして...

ウレリスの幼女が、ペニスを拡張しながら、勢いよく、尿道口から飛び出した。

産め、下等種。

両腕をウレリスの乳房に包み込まれて吊るされ、両足には、ウレリスの触手が何重にも巻きつき、21号には必ずすべがなかった。

うぎやあああああ  
うぎやあああああ  
うぎやあああああ

尿道からひり出して死ね。雑魚ちゃんぽが。

ウレリスの体は無数の触手を生やし、体も分節状になっていて、それが、尿道内をゴリゴリと削るため、ウレリスの産産は、男の子に比べて、この世で最も恐ろしい拷問方法の一つともなっている。

しかし、問題点としては、男の子が、ウレリスを産するよ

大体の場合には、あまりの刺激に、死亡してしまうことである。

クローン21号もその例外ではなかったろうが。

乳房に両腕を持ち上げられ、ていする彼の頭部が、力なく垂れ下がった。

情けない。

一匹しか産まずに死んでしまうとは。

さて、次の子の控尿っ☆

21号を濃厚に責め立て、苗床に運び、死亡させたウレリスが、彼を打ち捨て、次の獲物を探す。

これが、毎日行われる小便調教の時間だ。

クロイン達が食事後に小便調教を受ける中、二十番台の最後の一人、29番は遅れて、食事の時間を迎えていた。

しかし、最後に部屋に残され、生ずるために、女王の排世物を、撮取りしようと待っていた29番に、管理人の魔族娘が告げる。

あな充は、あまり栄養が取れていませんでし充ね。残り物にすぎないあな充は、処分することになります。

そんな……  
だって、いつもお食事が……  
最後だう充ので……

言い訳は、いりませんよ。あまり栄養がないあな充の体。何に、使いましうか。

ご主人様、お許しを……  
マンコのカスでも、うんちのカスでも、涎でも……なんでも食べます！  
食べさせて……く充まい……

今日は、他の子が、もうマンコモアナルも、掃除してくれまし充よ、あな充のご飯はありません。

せん……な……

このクロイン生産場は弱肉強食。充くマン栄養を摂り、良質な餌となれるものだけが、出荷まで生き、それ以外は、途中で処分される。

不良品の処分を  
始めましうか。

だめ……これじゃ  
僕……殺される……

26番み充いに……  
あんなく……酷い目に……  
あし充く……さい……

絶対に……逃げ出して  
人の村で……暮らすんだ……

この部屋にも……  
逃げ場は……必ず……  
……ある！

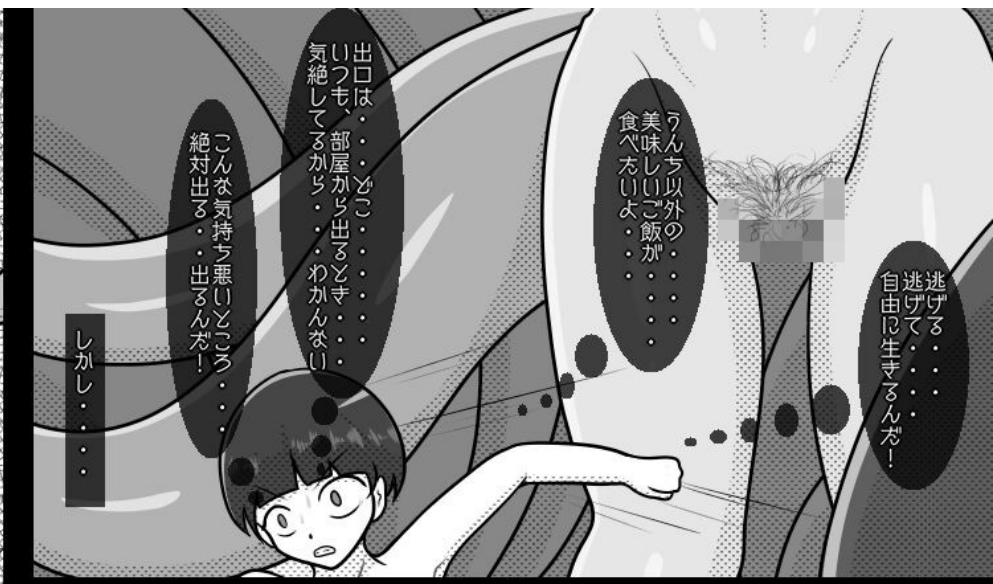
栄養を摂ることができず、  
痩せてしまつ充ため、処分が  
言い渡され充クロイン29番は、  
この部屋から逃げ出すことを  
決意した。



何ぞ……

ひい……モウ……  
追いつかれた……！？

29



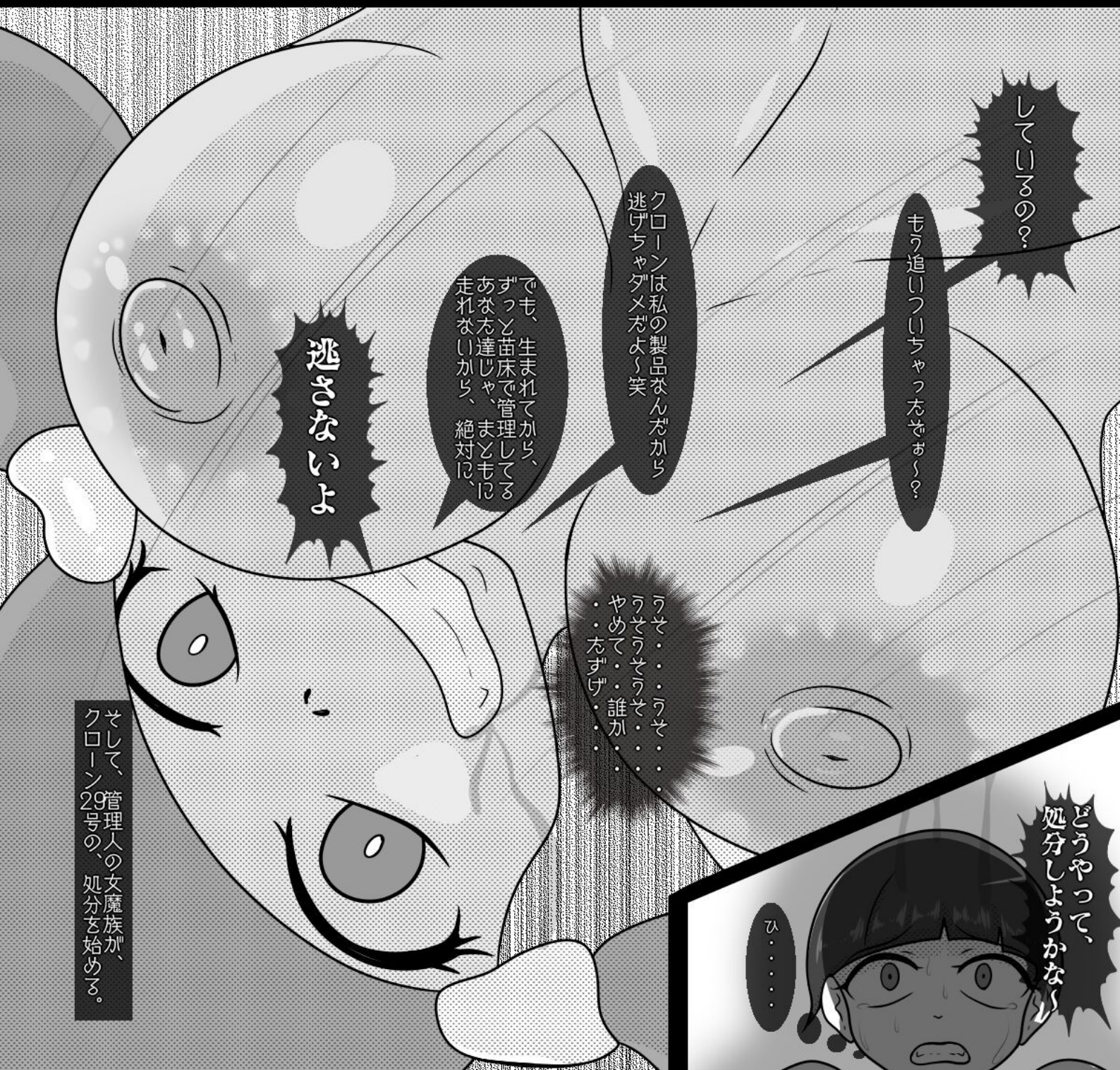
逃げる……  
逃げて……  
自由に生ずるんだ！

らんち以外の……  
美味しいご飯が……  
食べたいよ……

出口は……どこ……  
いつも、部屋から出るとき……  
気絶してるから……わかんない

こんな気持ち悪いところ……  
絶対出る……出るんだ！

しかし……



してごめん……

モウ追いついちゃったぞあ……？

クローンは私の製品なんだから  
逃げちゃダメだよ笑

でも、生まれてから、  
ずっと苗床で管理してる  
あな方達じゃ、まとも  
走れないから、絶対に

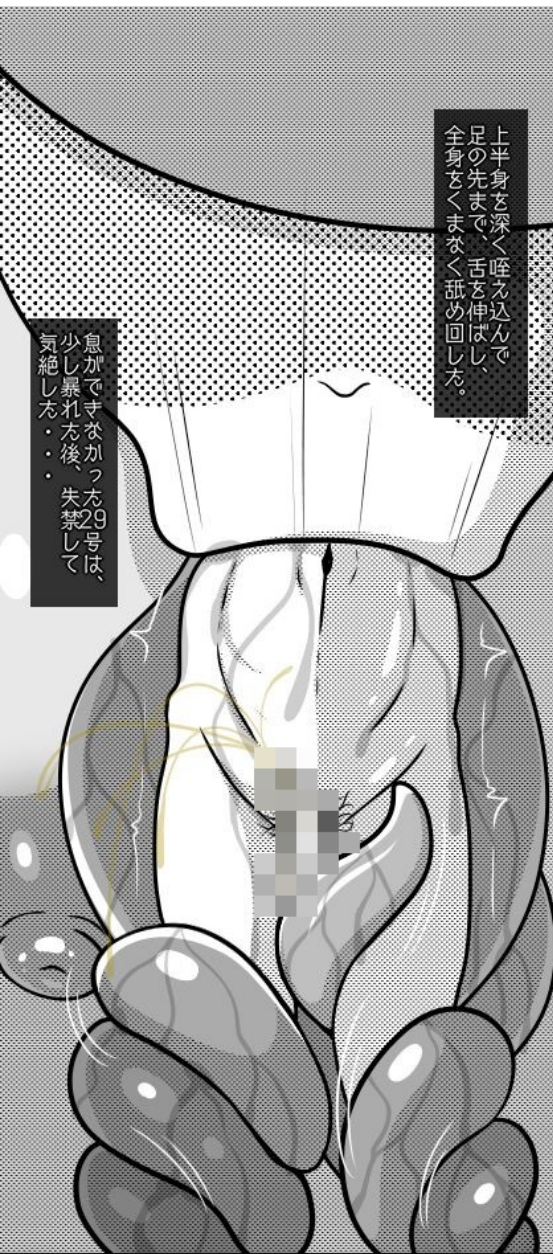
逃さないよ

ラセ……ラセ……  
ラセ……ラセ……  
やめて……誰か……  
……たずね

どうやって、  
処分しようかな

ひ……

そして、管理人の女魔族が、  
クローン29号の、処分を始める。



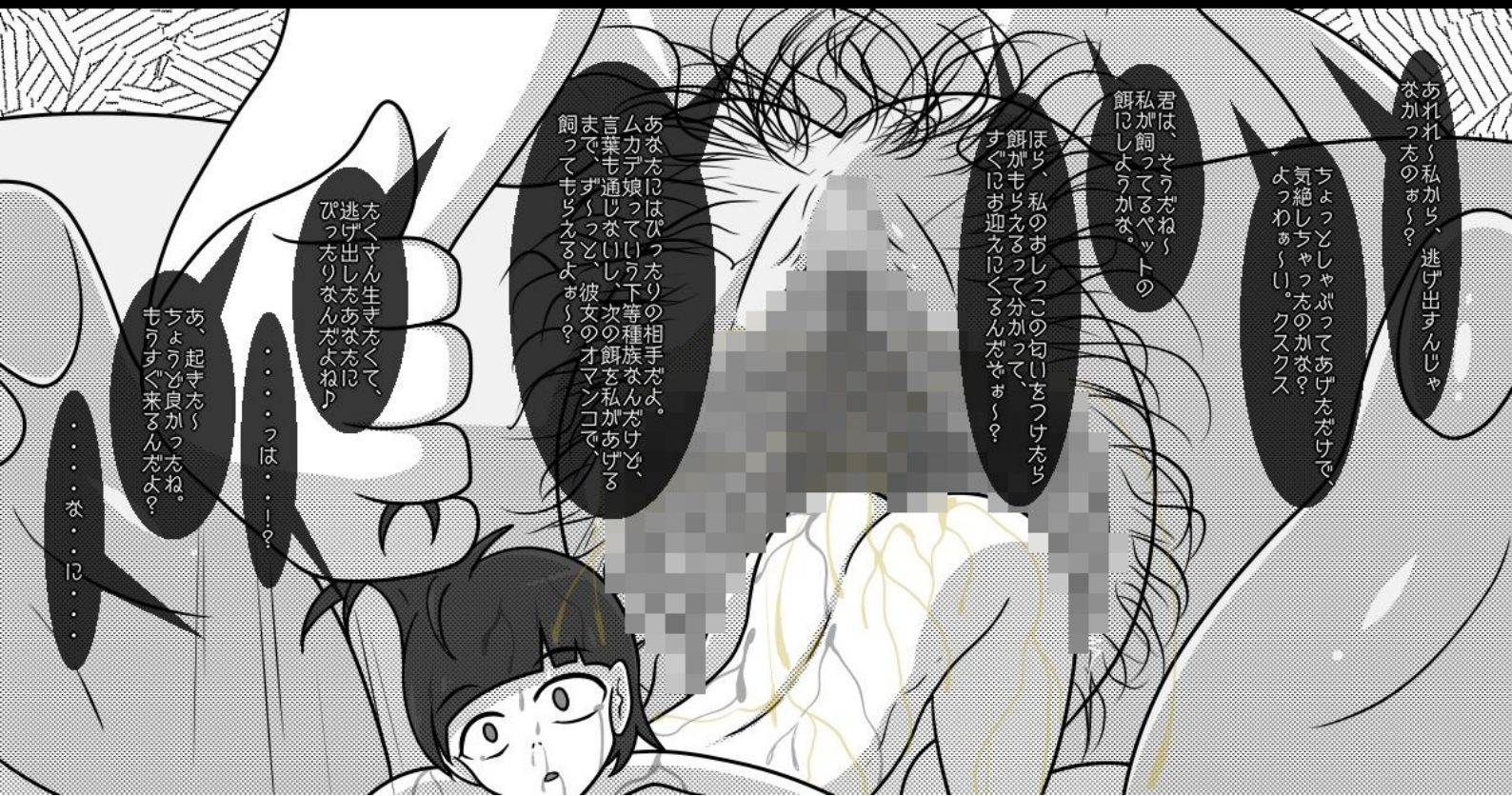
上半身を深く唾え込んで、  
足の先まで、舌を伸ばして、  
全身をくまなく舐め回した。

息がでずなかつた29号は、  
少し暴れ充後、失禁して  
気絶した……



逃げ出そうと走っていた  
29号を、管理人女が捕獲し、  
そのまま口に運ぶと、29号の  
頭にしゃぶりついた。

舌を使って顔中を舐めしゃぶり、  
マラに……



あれれ私から、逃げ出すんじゃ  
なかつたのぉ？

ちょっとしゃぶってあげたおかげで  
気絶しちゃったのか？  
よっわぁっしい、クスクス

君は、そうだね、  
私が飼ってるペットの  
餌にしようかな。

ほら、私のおしっこ匂いをつけろ  
餌がもらえて分かって、  
すぐにお迎えにくるんだぞぉ？

あなたにはびつ充りの相手だよ。  
ムカデ娘っていう下等種族なんだから、  
言葉も通じないし、次の餌を私があげる  
まで、ずっつと、彼女のオマンコで  
飼ってもらえるよぉ？

たくさん生き充てて、  
逃げ出したあなを  
びつ充りなんだよね♪

……っは……？

あ、起きろ  
ちょっと良かったね。  
もうすぐ来るんだよ？

……お……に……

ほら、逃げないよ、ムカデ娘のマンコの中で死ぬまで過ごすんだよ？

私は、いやだ、下等女魔族の膣で、寝る間もくずくずとチンポとかアナルとか虐められるんだよ？

私が次の獲物をあげなければ、ほんとう一生そのまま終わるんだから。

どうする、謝るとく？ 謝るなら今のうちだよ？

何……ムカデ娘……？ マンコ……お尻……？ そんなの……人間の扱……じゃない……

ご……ごめん……

あはは、ついに謝ったあ

ちゃんと反省してるの？

はい……して……ムカデ娘の餌は……

ヤメレタコ……

らんらん、わかるよ、その気持ち。

それじゃ……

じゅん

召し上がれ〜！

スキューレは、29号を許す気にならなかつた。彼が気づかないうちに、彼の下まで這い寄っていたムカデ娘に餌を投げ込むと、彼女は瞬間に無数の腕で、餌を捕獲してしまつた。

突然の出来事に、29号は、混乱し、そしてすぐに現実を認識し、グロテスクな下級モンスターを見て恐怖のあまり失禁してしまつた。

ギギギギギギギギ  
ギギギギギギギギ

そうよ〜それが新しい餌よ。良かったわね、あなた彼女に気に入られた見たいよ。

ギギギギギギギギッギッ

彼女、これから、15年前にあげた前回の餌を捕食してから、あなたをマンコにハメてくれるんだって〜

ほら、この子のマンコに前回の餌が入ってるでしょ〜10歳の男の子だつたかな、それも私が彼女に食わせただけよ〜

管理人が言うように、ムカデ娘の膣からは、男の子の下半身がぶら下がっている。

驚いた〜？  
ムカデ娘の膣内にいる間は、魔力で歳を取るのがゆっくりになるのよ。

だから、寿命関係なく、いつまでも、オマンコでしゃぶってもらえるわよ？

彼女、人の排泄物も大好物だからトイレの心配も無いわね〜

あ、そうだ！チャンスをおあげる。特別に、私は手を出さないから彼女から自力で逃げられろ、この施設から解放してあげるわね。

それじゃ、まああとで、様子見にくるわね〜はいばいばい

スキューレはそう言い残し部屋を後にした。

ギギギギ  
ギッギッギギギイイ♡

そうなの。  
前回の子供より、おしっこだけ  
じゃなくて精子も混ざってるから  
美味しいのね。

良かったわね、  
いいわよ、飽きるまで  
しゃぶり尽くしてあげなさいな。

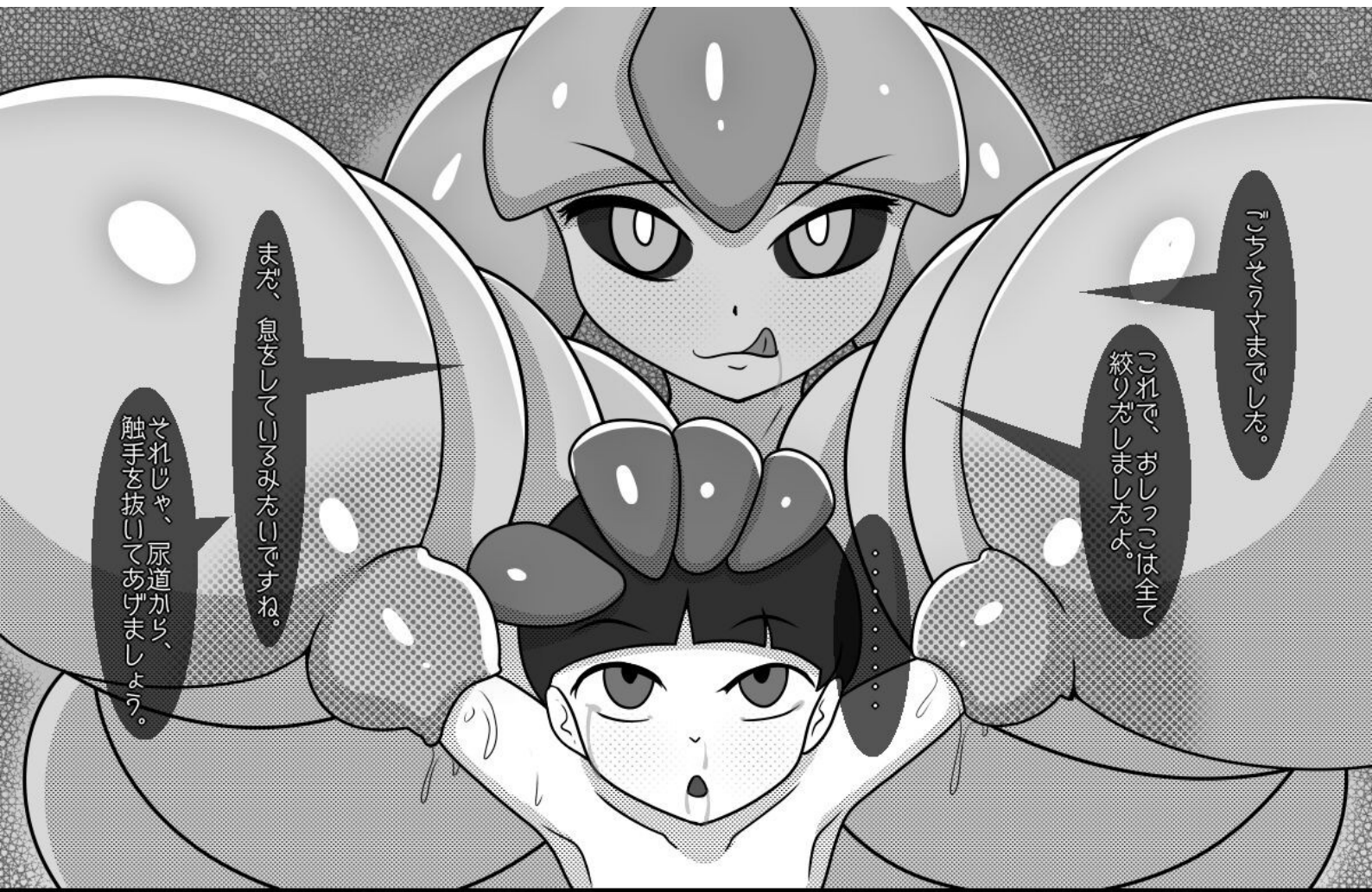
ギギ！

1時間ほどして、管理人が戻って来ると、  
幼い男の子の姿はすでに無くなってた。

代わりに、グロテスクな女モンスターの  
女性器に咥え込まれているのは、29号だ。

ちようど、29号の肛門から、  
ムカデ娘が舌を引き抜くと、  
29号は失禁した。

このように、ムカデ娘に捕獲された  
獲物は、生涯、臍に咥え込まれたまま  
魔力で長生きさせられる上、常に、  
精液や排泄物をムカデ娘がしゃぶり  
取るという、陰惨な末路をたどる。



『ハネのチキチキした。』

これで、おしっこは全て  
絞りだしましたよ。

まだ、息をしているみたいですね。

それじゃ、尿道から、  
触手を抜いてあげましょう。



尿を徹底的に絞り取られ、  
気絶したクローンたちを、  
ウレリスが、次の部屋に  
連行する。

次は、らんちのお時間  
ですよ。

アナルを、ちっぷり  
可愛がってもらうなま。

小便調教の次に待っているのは、  
らんちを管理するアナル調教だ。

24



ちゅぽん！

尿道から触手が抜けると  
気絶した24号は、一回身震いした。



こうして、本日の  
小便調教が終わる。

人間のアナルを味わい、  
排泄物を捕食すること  
好む女モンスターも多い。

その需要に応えるため、  
クローン達のアナルを調教し、  
排泄物を搾取するのが、  
このアナル調教部屋だ。

ウレリスによって持ち込まれた  
24号が、肉の壁から出現した  
乳首状の拘束肉壁により、手足を  
拘束される。

これから、始まるアナル調教は、  
クローンの日課の中でも、最も  
激しい調教の一つである。

そのため、逃げ出すことのない様に、  
乳首触手によって、しっかりと拘束  
マれてしまうのである。

そんな24号の背後から、  
女モンスターが現れる。

ちわっす

ボクが今日、君のアナル調教  
の担当っす。

どれどれ  
結構美味しそうな  
肛門っすね♡

彼女は、アナルを調教し、  
排泄物を搾取するために  
作られた。ウレリスと対を  
なす存在。「アナリリス」。

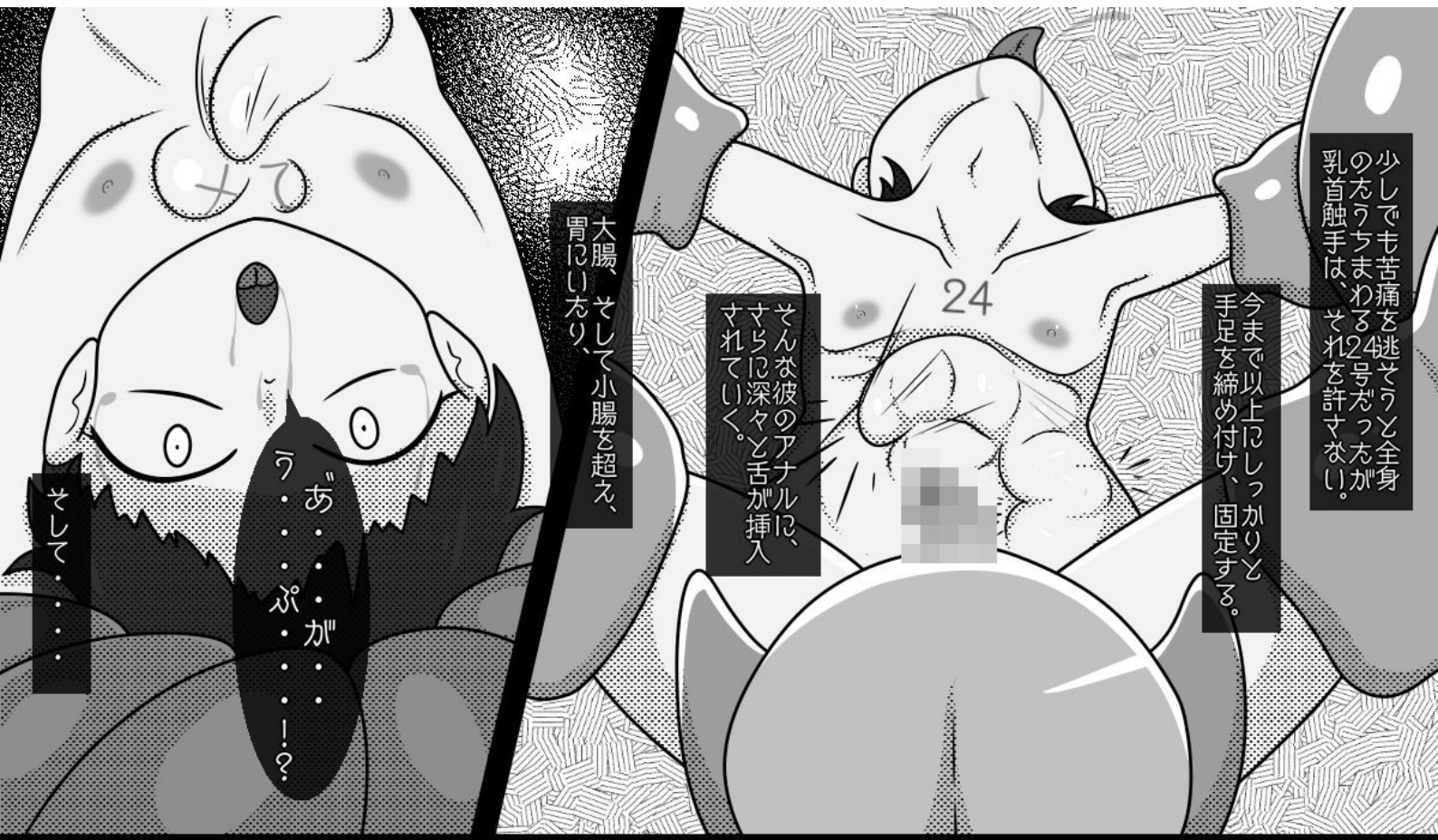
いっぱい虐めて  
やるっすからねっ♪

いたがきます♡

アナリリスが、24号の  
肛門に口を近づけ、  
人外の舌を伸ばしていく。

舌先が、肛門に  
触れると...





少しでも苦痛を逃そうと全身の毛うちまわる24号だっが乳首触手は、それを許さない。

今まで以上にしっかりと手足を締め付け、固定する。

そんな彼のアナルに、マダに深々と舌が挿入されていく。

大腸、そして小腸を超え、胃にいり、

う……あ……ぷ……が……！……？

そして……



う……ぼあお……

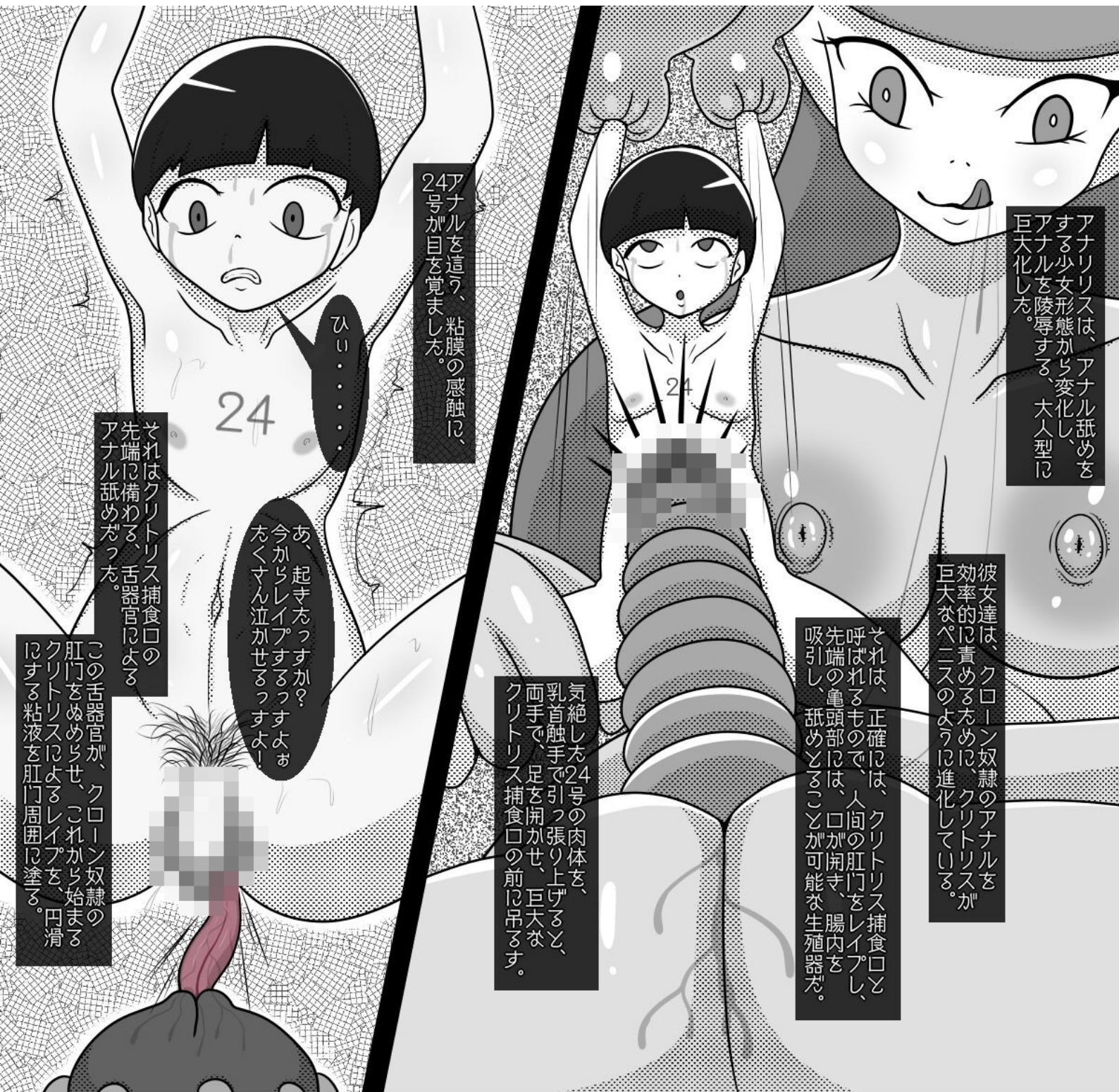
アナリスの舌先が、喉を舐めながら逆流し、ついに口腔内に侵入して口から飛び出してしまった。

腸内を通ってきた人外の舌は、少年の内臓の中を綺麗に掃除し、排泄物を吸収し、そして、口まで貫通したのだ。

アナリスの舌には、無数の突起が生えており、それが、クローン男子の内臓を、内側から刺激する。

体内に感じる、異物感、舌のイボイボによる刺激、そして、気道を舌で占拠される窒息により、24号は自目を向いて気絶する。

しかし、これは、前戯。アナリスの本当の調教はここから始まるのだ。



アナルを這う、粘膜の感触に、  
24号が目を覚ました。

アナリスは、アナル舐めを  
する少女形態から変化し、  
アナルを陵辱する、大人型に  
巨大化した。

彼女達は、クローン奴隷のアナルを  
効率的に責めるために、クリトリスが  
巨大なベニスのように進化している。

それは、正確には、クリトリス捕食口と  
呼ばれるもので、人間の肛門をレイプし、  
先端の亀頭部には、口が開き、腸内を  
吸引し、舐めとることが可能な生殖器だ。

気絶した24号の肉体を、  
乳首触手で引つ張り上げると、  
両手で、足を開かせ、巨大な  
クリトリス捕食口の前に吊るす。

あ、起きたっすか？  
今からレイプするっすよお  
ちくまん泣かせるっすよ！

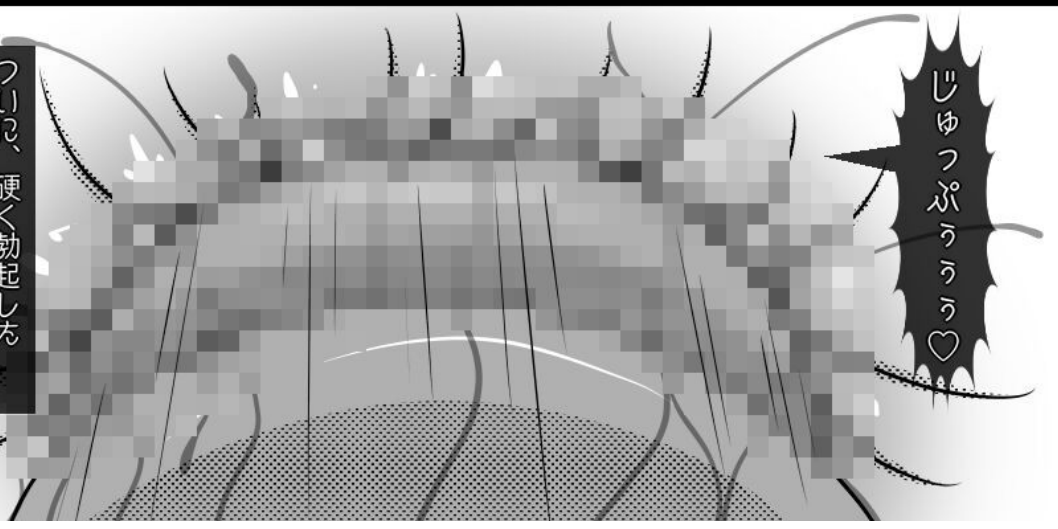
それはクリトリス捕食口の  
先端に備わる、舌器官による  
アナル舐めだった。

この舌器官が、クローン奴隷の  
肛門をぬめらせ、これから始まる  
クリトリスによるレイプを、円滑  
にする粘液を肛門周囲に塗る。

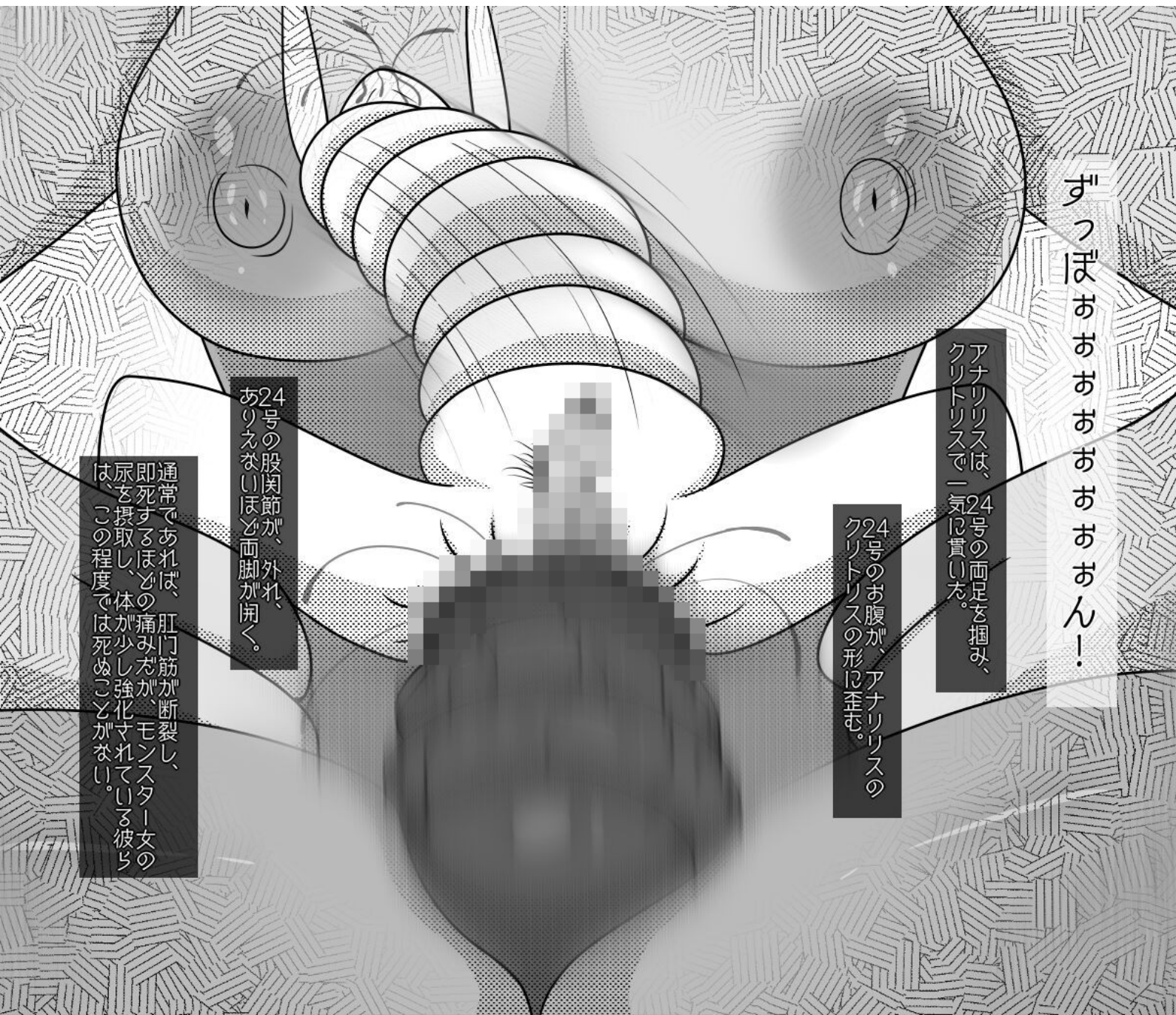


あっぎ……

ついに、硬く勃起した  
クリトリスが、24号の  
アナルに突き立てられ、  
亀頭が直腸に挿入された。



じゅっぶううう♡



ずっばおおおおおん！

アナリスは、24号の面足を掴み、クリトリスで一気に貫いた。

24号のお腹が、アナリスのクリトリスの形に歪む。

24号の股関節が、外れ、ありえないほど面脚が開く。

通常であれば、肛門筋が断裂し、即死するほどの痛みだが、モンスター女の尿を摂取し、体が少し強化されている彼らは、この程度では死ぬことがない。



ケツマンコ一突きで気絶っすか？  
情けない顔っすね〜

この、クソガキ♡

ほら、口まで貫通ですよ。

毎日受ける調教とは言え、あまりの苦痛に、24号は気絶する。

24アナルを突き上げられること、2時間。  
24号は、繰り返し失神し、アナリスの  
腰の上で、痙攣していた。

この調教によって、クローン奴隷達は、  
オナホールとしても使いやすいように、  
肛門から口までを一直線で繋がるように、  
腸管が改造されていく。

24号も繰り返し調教を受け、  
腸の大部分は、アナリスの  
クリトリス捕食口に食い尽くされ、  
普通の人間として、生きることは、  
もう、できない。

彼らを支配する女モンスター  
の排泄物から魔素を吸収すること  
だけが、彼の生きる方法。

そんなことも知らない彼は、  
繰り返し意識を途切れさせながら、  
いつか人間生活を送ることを夢見ながら、  
クリトリスによるレイプにもがき苦しんだ。

にゅっぽあ♡





22号ですか。いいですよ。

その熱意に免じてあなたを肉パイフにしましょう。

やった。僕が、僕だけがついに生き残れるんだ。

ありがとうございます！

これで、他の子と違って、僕だけ助かるチャンスが、何年もある！

いつか、逃げ出して、自由に暮らせるんだ！



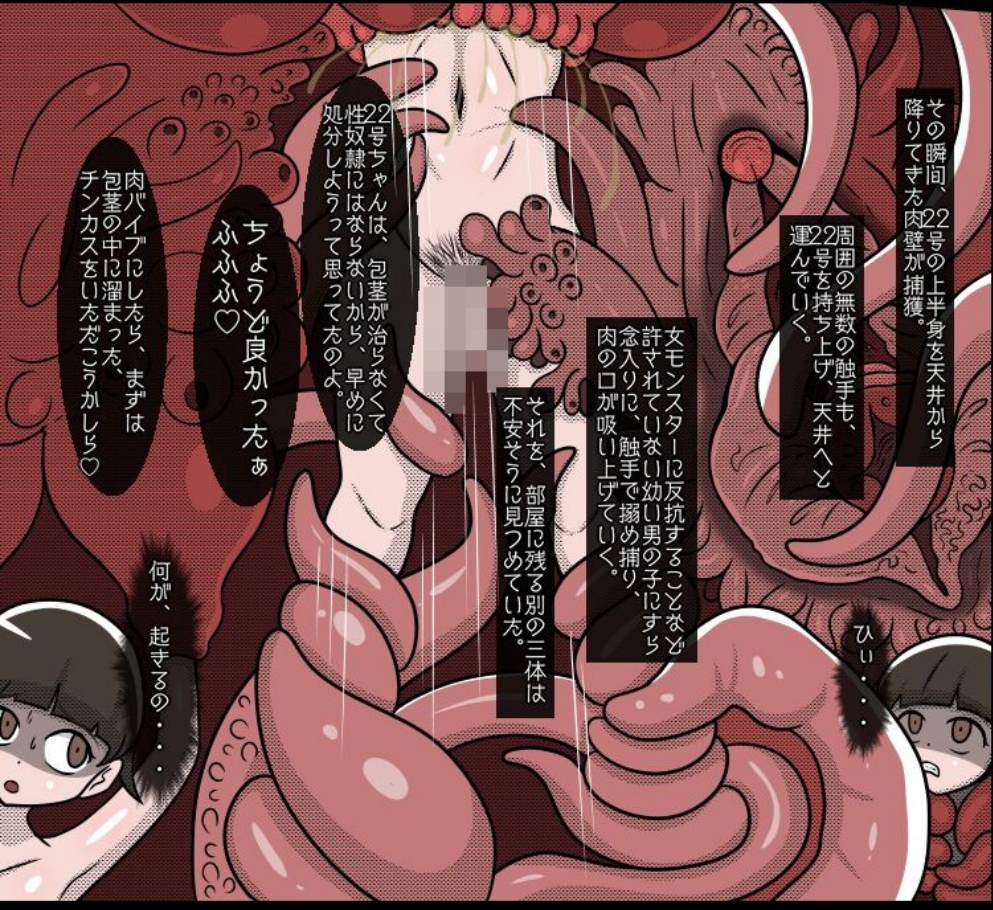
肉パイフで、18年を生きてきたら、その間に、逃げ出すチャンスもあるはず。

他の子に先を越されたくない。早いもの順...

ぼ...僕を、肉パイフにしてくださーい！

スキューレ様のオマンコで、使ってくださいませーい！

オマンコの垢もおしっこも、いっぱい食べさせてくださいませーい！



その瞬間、22号の上半身を天井から降りてきた肉壁が捕獲。

周囲の無数の触手も、22号を持ち上げ、天井へと運んでいく。

女モンスターに反抗することなど許されていない幼い男の子に、念入りに触手で搦め捕り、肉の口が吸い上げていく。

それを、部屋に残る別の三体は不安そうに見つめていた。

22号ちゃんは、包茎が治らなくて性奴隷にはならないから、早めに処分しようって思ってたのよ。

ちよらん良かったあふふふ♡

肉パイフにしちら、まずは包茎の中に溜まった、チンカスをいれだこうかしら♡

何が、起きるの...



それでは、パイフにする準備をしましよらね〜♪

はひ...？

準備？

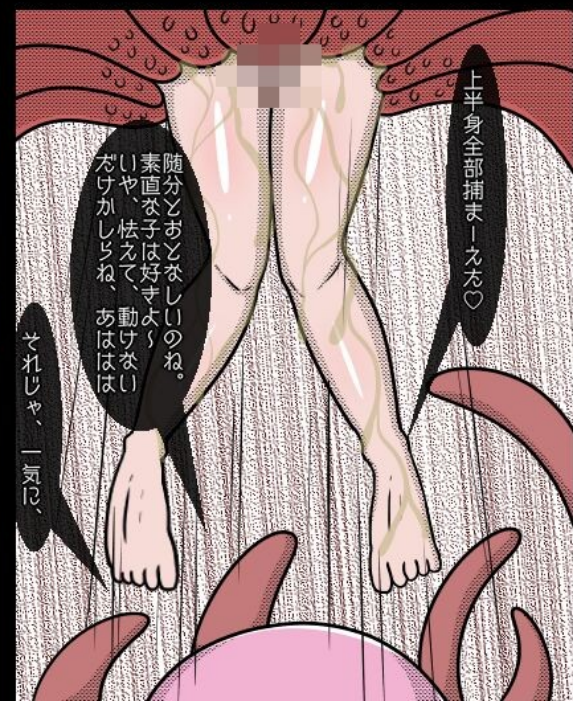
スキューレ様...僕は、ちよらんと...オマンコ...うっぶぶくぶ...おぶ...



ぱくんらよ〜

あとで引っぱり出しちゃうように足先だけは、出してあげてあげるわね〜それじゃ、始めましょうか。

一体何が...



上半身全部捕ま〜え充♡

随分とおとならしいのね。素直な子は好きよ〜いや、怯えて、動けないだけかしらね、あははは

それじゃ、一気に、



あ、今一瞬、逃げようとしなかつた？

まあ、いいわ。今そこから出られても下で触手が待ってるからね、無駄なのよ。

あら、もう諦めた？



パイプに腕なんて  
要らないんだぞ♡

腕と脚を残して使う子も  
いるけど、私は断然、胴体派  
なんだよな

しかも、だるま状態の方が、  
見た目も可愛いじゃん♡  
マンコに来るんだよね笑

っふ  
っふ  
っふ

腕が  
っふ  
っふ  
っふ

22床の肉壁まで引かず降り降ろまれ方  
22号の両腕は、おろされてた。

右腕の根元には、蠢く触手が、  
食らいついていた。  
こうして、左腕も処理され方  
に違いがないのである。

こうして、女モンスターの膣を  
慰めるためだけの道具として、  
22号は腕を処理された。

隙をみて、逃げ出すチャンス  
を狙っていた22号にとっては、大きな  
誤算と言えるだろう。

22





それじゃ行こっか、  
私のオナ部屋。

君と同じパイプが、  
何十個も置いてあるんだよ。

その包茎ちゃんぽも、子供アナルも、  
乳首も、責め尽くしてあげまぢゅよ♡

でも、気持ちよくないパイプは、  
すぐに餌に使っちゃうから、  
頑張って生き残るんだぞ♡

嘘だ……

こんなの……いやだ……

どうすれば……  
自由に……なれるの……

目先の美味しい条件に飛び乗り  
パイプ奴隷になつた22号は、  
手足を失い、もはや人間とは  
呼べないような物になつた。

しかも、スキューレに気に入られ  
なかつたパイプは、餌になるらしい。  
だから、これから22号は、全身を  
責められながら、命がけで、毎日  
彼女の腔にご奉仕するのだろう……

残された24号、25号、28号は、  
目の前のクロテスクな現実に、  
今までにないほどの恐怖を味わう。

こうして、22号も脱落したのだった。

そして、三体のクローンたちは、  
今までの脱落者の、脱落の瞬間の  
恐怖の顔を、どうしても思い出して  
しまつていた……

アリ娘族のモンスターは、  
精通していないような、  
幼い男子を餌として好む。

僕ちちの中でも一番、体が  
幼かった20番が選ばれた。

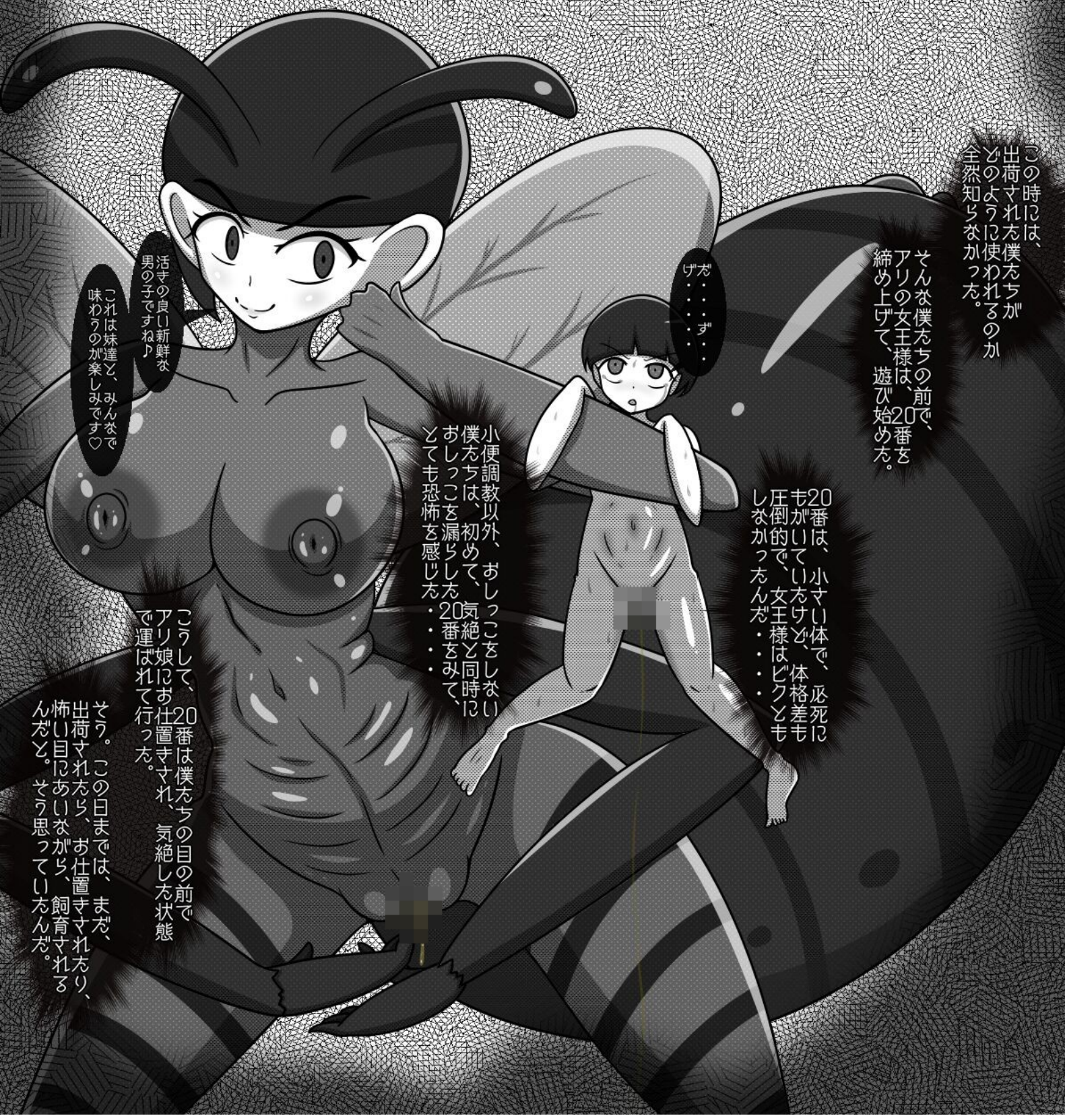
了解しました。  
こちらをお召し上がり  
くださいませ、女王様。



僕ちちが飼育され  
初めてすぐのこと。

子供を一匹もらおう  
かしらね。

初めての出荷が  
行われた。



この時には、  
出荷された僕ちちが  
どのように使われるのか  
全然知らなかった。

そんな僕ちちの前で、  
アリの女王様は、20番を  
締め上げて、遊び始めた。

20番は、小マい体で、必死に  
もがいていたけれど、体格差も  
圧倒的で、女王様はビクンも  
しなかったんだ。

げだ  
ず

小便調教以外、おしっこをしない  
僕ちちは、初めて、気絶と同時に  
おしっこを漏らした。20番をみて、  
とても恐怖を感じた。

こうして、20番は僕ちちの目の前で  
アリ娘にお仕置きされ、気絶した状態  
で運ばれて行った。

そう。この日までは、まだ、  
出荷されたら、お仕置きされたり、  
怖い目にあいながら、飼育される  
んだ。そう思っていたんだ。

これは妹達と、みんなまで  
味わうのが楽しみですよ

活きの良い新鮮な  
男の子ですね

それから数週間、僕たちが、おしっこは違う、精子っていうのを、おちんちんから初めて絞られた日。

23番が、購入された。僕たちの前で、見充こともない巨大なゴキブリ型の文魔族が現れて、23番を掴み取った。

君は、今日、初めて射精したんでしょ？

は...い...

気持ちよかったですか？

はい！  
ご主人様のお口が  
気持ちよかったです！

よかったですわね〜

でも、それが君の最後の  
射精になるのよあ〜

は...ひ...？

そして、ゴキブリの女王様は、  
23号に、頭からしゃぶりついた。

僕たちは目の前で何が起きてい  
るのか、分からなかった。

23号の上半身を、丸呑  
みに啜え込み、彼女は、  
激しくしゃぶり回した。

ぐちゅぐちゅううう  
ちゅるるるるるん

じゅちゅううう  
ちゅるるるるるん

みんなの前で、23番は、おしっこも、  
うんちも漏らしちゃっていた。

お漏らししてしまっただけには  
厳しいお仕置きが待っているから、  
僕たちがそれに恐怖しているよ、

実際には、それよりも、ひどいことが  
起きていたんだ...

女王様が、喉をゴクリと鳴らすと、  
塊が、彼女の喉を通して落ちて行った。

そして、残っているのは、  
23番の脚一本だけだった。

僕たちの多くがパニックになり、  
肉苗床の中で、失禁して、震えていた。

この日初めて、僕たちが  
彼女達の餌であることを  
知ったのだ……

ふっ初精肉は美味しかった♡

足は一本、持って帰って  
娘にあげましょう♪

でも、おれ虐待されて、捕食される  
だけなんて、あんまりだ……

だから、僕たちは、逃げ出す  
ことを考え始めました。



これが、お仕置き用の  
魔界ミミズプールです。

ひつひつひつひつひつひつ

何……  
みみ……ず……

彼女達はあなたを人間の  
排泄物を餌にする下級生物  
なんですよ

そこには気持ちの悪い  
触手状の生物が無数に  
入れられています



少しでも私に逆らおうと  
した罰、あなたを受けなさい。

僕じゃない……です……  
他の子……が……

誰でも良いのよ  
見せしめになればね。

でも、それが、「ご主人様に  
バレてしまった。

代表として、26番が  
お仕置きされることになった。



そこで、死ぬまで反省しなさい。

あなたがおしっこやうんちを  
漏らした瞬間に、ミミズちゃん達が  
一斉に食事を始めますよ。

この子達は、全部メスで  
ちんぽ汁も大好物なんですよ。

下級生物の気持ち悪いお口に  
たっぷり射精しなさいね。

その壺には大量の巨大な  
ミミズ型のモンスターが  
入れられていて、透明で  
見えるようにされています。

そこから見えた、26号の  
顔は、今でも頭から離れない。

僕たちの、もっとも恐怖した  
顔が、そこにはあったのだ。

26番は、ミミズ壺の中で、  
一日以上必死にトイレを我慢して  
いたんだけど……そんなに我慢できる  
わけなくて……

次の日、苗床部屋に置いてある  
ミミズ壺で、26番の捕食が始まった。

多分、うんちを食べるために、肛門から  
入ったミミズが、口まで貫通しちゃって  
想像したくないほど、苦しそうだった。

この日を境に、僕たちは、  
ご主人様に、歯向かおうと  
するのをやめた……

26番のおんちちゃんにまで、魔界ミミズが  
しゃぶりついて、激しくじゅっぽじゅっぽ  
音を立てて、キンタママ舐め回していた。

僕たちと同じ見方目の、兄弟みないな  
子が、こんな気持ちの悪い目にあっている  
ことが、信じられなかった。

続  
く  
・  
・  
・